

令和6年度「地域学校協働本部事業」 放課後子ども教室の取組事例

「葛尾キッズクラブ」(福島県葛尾村)

取組の概要や経緯

- ・平成25年度に避難先の三春町で学校再開と同時に事業を開始、平成30年度より葛尾村で実施している。
- ・児童の放課後の居場所づくりと、様々な体験・交流・学習活動を通して、子どもの社会性、自主性、創造性豊かな人間性の醸成を図ることを目的としている。

内容

- ・対象 : 葛尾小学校児童
- ・実施日 : 平日の放課後～17:00、夏休み・冬休み(年間213日)
- ・実施場所 : 葛尾小学校(生活科室、体育館、多目的室)
- ・運営 : 小学校、教育委員会、指導員とのミーティングを適宜実施しながら運営している。
- ・活動内容 : 宿題仕上げ、英語活動、工作、運動、ヨガ教室、移動学習、体験学習 等

ポイント

- ①少人数の特色を活かし、家庭のような温かい雰囲気の中で安心して過ごすことのできる環境づくりに努めている。
- ②村の移住定住事業で地域に関わるアーティストや学生など、異年齢・異職種の方々との交流を実施している。

成果

- ①年度当初は全児童は参加していなかったが、現在は全員参加している。
- ②アーティストやヨガなどの外部講師や地域住民・学生ボランティアを活用し、体験活動の充実を図るとともに、児童同士では培われない異世代との交流を深めることができた。

	R6.4月	R7.1月
参加児童数	14人	16人



【野菜収穫体験の様子】
地域住民の畑に行き、トマトやなす、きゅうり、スイカなどを収穫し、スイカ割りを行いました。

今後の方向性

次年度は、地域住民との交流の機会を増やした事業運営を目指し、長期休業中の実施時間・実施日数を増やし、安全な居場所を更に確保し、保護者の就労支援も行う予定である。